

造影検査を受けられる方へ（患者用）

今回実施する検査は“造影剤”という薬剤を使用して行う検査です。一般に造影剤の使用により、病気の存在や状態がより詳しく正確に描出され、精度の高い診断に大変役立ちます。

この造影剤は安全な薬剤ですが、まれに副作用が発生することもあります。

- 1) 軽い副作用：吐き気、嘔吐、かゆみ、発疹などが、20～100 人に 1 人の割合で発生しますが、多くは心配ありません。
- 2) 重い副作用：血圧低下、呼吸困難、意識障害などが、1000～2000 人に 1 人の割合で発生します。点滴、昇圧剤、抗アレルギー薬などの治療が必要です。極めてまれですが、10 万～100 万人に 1 人の割合で死亡に至る例もあります。
- 3) 遅発性副作用：検査終了後、数時間から数日後にも発生する場合があります。

残念ながら、こうした副作用はいつ発生するか事前に知ることができません。また前回の検査で副作用がなくても、今回発生することもあります。造影剤にはこうした副作用がありますが、あなたの病気を診断・治療するうえで、造影剤を使用した検査が非常に重要であると考えています。万一副作用が発生しても、すばやく対応ができるようにしたうえで検査を行なっています。もし変だと感じたら、ためらわずにすぐおっしゃってください。

造影剤の注射中に、血管の外に造影剤が漏れることがあります。少量の漏れは心配ありません。

※ 現在妊娠又は妊娠している可能性のある方は原則として検査できません。

※ 授乳中の方は、検査終了後は 4 8 時間授乳をお避けください。

※ 糖尿病で下記のお薬を服用されている方は、検査前 4 8 時間、検査後 4 8 時間はこのお薬を飲まないで下さい。

（メトグルコ・メトホルミン・グリコラン・メデット・ネルビス・ジベトス）

※腎臓の機能が低下している方は、検査を行えなかったり、使用する造影剤量を調節することがあります。